

令和2年度イノベーション戦略策定事業の成果概要

－ シニア就労事業者支援に関する戦略策定 －

令和3年4月

(一財) 機械システム振興協会

令和2年度イノベーション戦略策定事業の4テーマの1つとして、(一財)ニューメディア開発協会に委託して、「シニア就労事業者支援に関する戦略策定」を、次の通り実施しました。

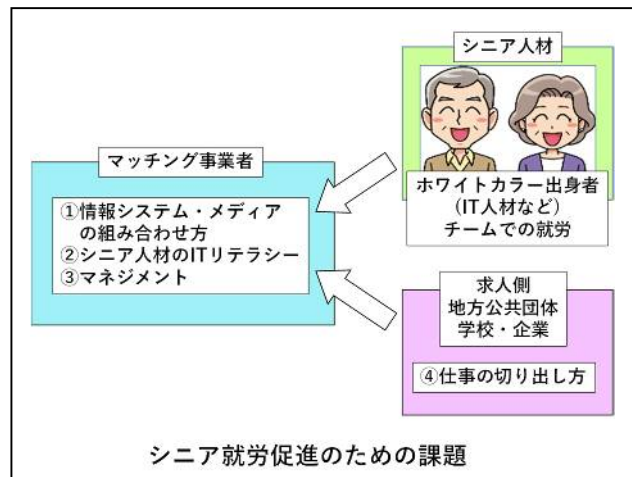
【事業の目的】

少子高齢化の急速な進展により生産年齢人口は減少していますが、健康寿命が延び、豊富な経験を持つ元気な高齢者が増加しています。こうしたシニア人材の就労を促進することは、我が国経済の活性化に役立つのみならず、シニア人材の生きがいにも役立ちます。

令和元年度においては、シニア就労のマッチング機関に情報システムを導入して、業務を効率化する戦略を検討しましたが、その過程で、就労促進のためには、情報システムの導入だけではなく、次のような課題があることが明らかになりました。

- ① マッチング業務における情報システムとメディア活用法
- ② シニア人材の情報リテラシーギャップの解消
- ③ マッチング機関におけるマネジメント
- ④ 仕事を依頼する求人側の仕事の切り出し方

特に、ホワイトカラー出身者向けの仕事のマッチングのためには、上記③や④の検討が重要です。そのため、令和2年度は、これらの課題を検討し、シニア人材の就労促進のための戦略を策定しました。



【令和2年度事業の概要と主要成果】

ニューメディア開発協会に戦略策定委員会を設置し、学識経験者、シニア人材のマッチング事業者などが参加して、シニア人材の就労促進の戦略を策定しました。その主要な成果は次の通りです。

① マッチング機関におけるシニア就労の課題と方向性

6ヶ所のシルバー人材センターへのヒアリング、シニア情報生活アドバイザー制度への

参加団体におけるケーススタディなどの調査を行い、次のような点を検討しました。

- ・現在、ホワイトカラー出身者の就労ニーズへの対応が不十分で、今後、中程度のスキル・専門性を持った人材のマッチングの強化が重要
- ・現在のチーム就労では、リーダーの管理業務の負担が大きく、支援が必要
- ・大都市圏と地方圏のマッチング機関の間の交流は少ないが、農業体験、特産品の販路開拓などの事例あり
- ・マッチング業務における情報システムの活用はまだ不十分
- ・IT に不慣れなシニア人材の公平な就労機会は大切で、IT リテラシーの改善が必要

② 拡充すべきシニア就労分野

今後拡充すべき分野としては、右表のような5つの分野が期待されます。

ホワイトカラー出身者等のシニア就労で今後拡充すべき分野	
公的業務関連分野	公園・図書館などの施設管理、学校関連、IT関連など
IT関連分野	高齢者向けデジタル活用支援、学校など公的機関のIT導入・運営支援など
中小企業向け専門業務支援分野	経理・財務管理、貿易手続き、生産・物流管理、特許・法務など
マッチング機関の運営支援分野	契約手続き、会計処理、顧客開拓、会員獲得など
その他の一般事務分野	書類整理、書類の電子化、データチェック、市場調査のモニターなど

③ アクションプラン

シニア就労を促進するため、次のアクションプランを検討しました。

- ・チーム就労のためのリーダー支援
- ・マッチング機関における情報システムとメディアの活用
- ・就労開拓（営業・マーケティング）力の強化（企業での営業経験者の活用など）
- ・マッチング機関における入会促進
- ・行政との連携による就労開拓
- ・民間企業など発注者側におけるシニア向け仕事の切り出し方・切り分け
- ・都市と地方の連携
- ・マッチング機関のマネジメント能力の向上（経営層への研修など）

【今後の展開】

今後、（一財）ニューメディア開発協会など参加者の働きかけによって、マッチング機関への普及啓発、シニア情報生活アドバイザーなどによるITリテラシー教育研修、シルバー人材センターの情報システムへの反映などが進むことが期待されます。

【問い合わせ先】

イノベーション戦略策定事業全般：（一財）機械システム振興協会 Tel: 03-6848-5036
 本調査開発の詳細：（一財）ニューメディア開発協会 Tel: 03-6892-5030